

バーチャル限定開催

電子楽器の創造展

ELECTRONIC MUSICAL INSTRUMENT

VR空間で体験する電子楽器の進化

本展は
インターネットで
体験いただく
企画展です
(一部無料)

会期

2023.7.28(金) ▶ 8.31(木)

URL

<https://www.kahaku.go.jp/3dmuseum/EMI-VR/> ※会期等は変更となることがあります。

入場料 2,500円(税込) ※会期中は何度でも入場可能、無料展示ゾーンあり。 ●バーチャルガイドツアー参加費1,000円(税込) ※入場料とは別料金。

主催 独立行政法人国立科学博物館、公益財団法人かけはし芸術文化振興財団

協力 一般社団法人全国楽器協会、一般社団法人音楽電子事業協会、株式会社KADOKAWA、株式会社ミュージックトレード社、国内楽器メーカー各社



国立科学博物館

National Museum of Nature and Science

[お問い合わせ先]

国立科学博物館 科学系博物館イノベーションセンター
電子楽器創造展担当
vre-emi@kahaku.go.jp

観覧・チケット購入
はこちらから



URL:<https://www.kahaku.go.jp/3dmuseum/EMI-VR/>

ABOUT

初めての電子楽器といわれるテルミンが誕生してから、およそ100年、電子楽器は大きく発展してきました。そこには、日本がリーダーシップを発揮して、技術的な革新をもたらし、音楽芸術や文化に影響を与えてきた歴史があります。本展では、電子楽器の発展に関連する楽器3Dモデルや人物といった資料を用いて、電子楽器の発展の様子をバーチャル空間上で紹介します。

PROGRAM

※MIDI:電子楽器間で演奏データを共有するための世界共通規格。

第1章

電子楽器の ショーケース

歴史的なヴィンテージをはじめ、革新的なテクノロジーで世界の音楽シーンに変革をもたらせた数々のシンセサイザーとリズムマシンを中心に3Dで再現。エキスパートによるサウンドと共に体感できるVR展示ゾーンです。



第2章

電子楽器の 偉人たち

“INNOVATOR”と海外で称され電子楽器の開発に生涯をささげた梯郁太郎。電子楽器を積極的に取り入れ音楽に新境地を切り開いた富田勲。そして世界初と言わる電子楽器を発明したレフ・テルミン博士は竹内正実が紹介します。



第3章

What's MIDI

規格制定後40年を経ても電子楽器のデジタル技術の根幹をなすMIDI。MIDIが生まれた歴史的背景や音楽の歴史に与えた影響について、映像やクイズで学んでいきます。



第4章

YMOステージ の楽器たち

1980年に日本武道館で使われたYMO (Yellow Magic Orchestra)の楽器セットを3Dでリアルに再現。“YMO第4の男”の異名を取るシンセサイザー・プログラマー松武秀樹のAvatarがYMOサウンドや楽器のエピソードを解説します。



SPECIAL CONTENTS

4章で動画公開

松武秀樹 × 牛尾憲輔 特別対談



松武秀樹

電子楽器プログラマーの草分け松武秀樹と、いまもっとも注目される音楽家のひとり牛尾憲輔(agraph)による、特別対談。



牛尾憲輔

対象デバイス

- Windows10以上、macOS 10.15以上がインストールされたPCで、メモリは4GB以上(8GB推奨)、WebブラウザはGoogle Chrome推奨。
- MetaQuest2(Quest Link接続)推奨。

SPECIAL EVENT

バーチャルガイドツアー

2023年8月土曜日、日曜日開催予定

参加費 各回1,000円(税込)

(イベント1回限りの参加費、バーチャル企画入場料は別途必要)

藤本健

情報サイト『DTMステーション』を運営する藤本健氏セレクションの電子楽器を解説するバーチャルツアーです。

坂上暢

『キーボード・マガジン』、『DTMマガジン』等、音楽雑誌の連載等で活躍中の坂上暢氏セレクションの電子楽器を解説するバーチャルツアーです。

- iPad/iPhone対応機種一覧は下記リンク先ページ下部に記載の「対応デバイス」をご確認ください。
<https://www.apple.com/jp/augmented-reality/>
- Android対応機種一覧は下記のサイトをご確認ください。
https://developers.google.com/ar/discover/supported-devices#google_play_devices